

研究テーマ Research theme

SOGI/LGBTと家族法に関する比較法研究

概要 Overview

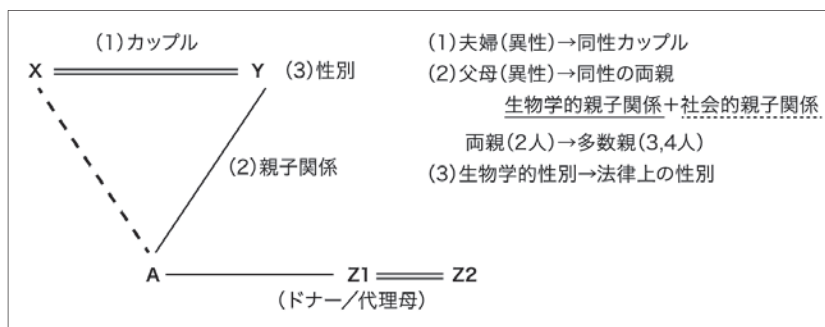
研究内容は、(1) 同性カップルによる家族形成、(2) 法における性別からなる。まず、(1) 同性カップルによる家族形成は、(a) 同性婚・パートナーシップ制度、(b) 同性カップル両親とする親子関係により達成される。同性カップルと子からなる家族は、日本にも存在しているが、法的には家族として扱うことができないのが現状である。このような家族を、法的にどのように構成することができるかを検討することが現在では求められている。

同性カップルの当事者間の関係について、日本で地方自治体がパートナーシップ登録／宣誓を認めているが、具体的な権利・義務は伴っていない。欧米において、どのような過程を経て同性カップルによるパートナーシップ制度から同性婚の導入に至ったのか、2017年に同性婚を認めたドイツ、オーストリアを中心に比較法研究を行っている。同性カップルを両親とする親子関係について、連れ子養子縁組、共同縁組による養親子関係のみならず、人工生殖による法的な実親子関係をも認めるオランダ、オーストリアを比較研究の対象としている。精子提供、卵子提供による人工生殖が行われている現代において、実親子関係は、遺伝的・生物学的関係にのみ基づくのではない。生殖補助医療により同性カップルが子をもうけることも可能である状況において、法がどのように対応するべきであるのかを探る。

これらの研究は、家族の多様化が進む現代において婚姻・親子関係の意義を問い直すためにも有用である。

(2) 法における性別は、(a) 性別違和(性別不合)、(b) 第3の性別の観点から検討している。性別違和については、性同一性障害特例法が定める性別変更の要件が不要であることを比較法研究から示す。第3の性別については、2018年に立法するドイツの状況を検証し、男性も女性でもない、または男性でも女性でもあると自認する人の性別を法的にどのように承認するかを考察する。これらの問題は、法的な性別を決定する要因が身体的・生物学的性別から、自認する性別へと変化していることを比較法研究から明らかにする。

上記のテーマについて比較法研究から得られた成果を、日本法の解釈、立法にどのように取り入れることができるかを検討する。



本研究各課題の関係

応用分野 Application areas

- 社会学
- 社会・文化研究
- 医療と法制(生殖補助医療、性別適合手術など)

共同研究等へのニーズ Need for joint research

SOGI/LGBTの権利保障のために政策などの提言を行う官庁、地方公共団体、政党、企業、団体と、家族に関する問題を明らかにして、その対策を検討する。

生殖補助医療、性別違和、性分化疾患に関わる医療機関、学会と連携して現状とそれに対する法律面からの対策を検討する。

わたなべ やすひこ
渡邊 泰彦

法学部 教授
博士(法学)/同志社大学

ホームページ URL
なし

主な研究業績

- 「個人の尊厳とセクシュアリティの多様性」二宮周平・棚村政行編『現代家族法講座 第1巻 個人、国家と家族』日本評論社(2020) 327頁
- 「性別変更と親子関係ードイツ通常裁判所判例をもとに」国際公共政策研究 24巻1号(2019) 1頁
- 「ドイツ同性婚導入ー 寄せか、詰みか」法学セミナー 777号(2019) 1頁
- 「ドイツにおける同性婚導入」京都産業大学総合学術研究所報 13号(2018) 1頁
- 「第3の性別は必要かードイツ連邦憲法裁判所 2017年10月10日決定からー」産大法学 52巻1号(2018) 83頁
- 「同性の両親と子ードイツ、オーストリア、スイスの状況ー(その1~6)」産大法学 47巻3・4号(2014) 290頁、48巻1・2号(2015) 217頁、49巻1・2号(2015) 94頁、49巻4号(2016) 1頁、51巻2号(2017) 63頁、53巻3・4号(2020) 229頁
- 「子と母の女性パートナーとの母子関係の成立ーオランダにおける子とデュオマザーの親子関係ー」産大法学 50巻3・4号(2017) 211頁
- 「性的自己決定権と性別変更要件の緩和」二宮周平編『性のあり方と多様性ー一人ひとりのセクシュアリティが大切にされる社会を目指して』日本評論社(2017) 196頁
- 「同性愛と法ードイツにおける変遷について」陶久利彦編『性風俗と法秩序』尚学社(2017) 242頁
- 「同性婚による婚姻概念の変容ードイツ連邦議会法務・消費者保護委員会公聴会よりー」同志社法学 68巻7号(2017) 527頁
- 「同性カップルによる婚姻から家族形成へ」法律時報 88巻5号(2016) 73頁
- 「ドイツ・オーストリア」棚村政行・中川重徳編『同性パートナーシップ制度』日本加除出版(2016) 26頁
- 「家族法判例の変遷における婚外子」歴史評論 785号(2015) 64頁
- 「親の複数性と多元性をめぐる日本法の現代的課題」比較家族史研究 29号(2015) 79頁
- 「同性パートナーシップの法的課題と立法モデル」家族(社会と法) No.27(2011) 34頁